

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

| | 単位 | 2019/12/31 | 2019/12/31 | 2020/1/24 | 過去3年高値 | | 過去3年安値 | |
|------|----|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | (前年末) | (前月末) | (前週末) | 水準 | 日付 | 水準 | 日付 |
| 日経平均 | 円 | 23,656.62 | 23,656.62 | 23,827.18 | 24,448.07 | 2018/10/2 | 18,224.68 | 2017/4/17 |
| NYダウ | ドル | 28,538.44 | 28,538.44 | 28,989.73 | 29,373.62 | 2020/1/17 | 19,784.77 | 2017/1/31 |
| 円/ドル | 円 | 108.61 | 108.61 | 109.28 | 115.51 | 2017/3/10 | 104.46 | 2019/8/26 |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～新型コロナウイルスの感染拡大懸念などから、下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲214.08円(▲0.89%)、TOPIXが▲5.00ポイント(▲0.29%)となり、新型コロナウイルスの感染拡大懸念などから、小幅下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、建設業、不動産業などの9業種が上昇する一方、海運業、鉱業、鉄鋼、空運業などの24業種が下落しました。

週初は、先々週末の米国株市場において、米中の好調な経済指標を背景に主要3指数が連日で高値を更新したことを受け、上昇して始まりました。21日、中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まり中国株市場が急落したことを嫌気し、下落しました。22日は、中国株市場が落ち着きを取り戻したことで投資家のリスク回避姿勢が和らぎ小幅に反発しましたが、23日には①春節控え新型コロナウイルスの感染拡大が改めて意識されたこと、②1ドル109円台半ばまで円高ドル安が進行したことなどから、再度下落しました。週末24日は、米インテルの10-12月決算が事前予想を上回る良好な内容であったことなどから半導体関連中心に買われる一方、新型コロナウイルスへの警戒感が上値抑制要因となり、横ばい圏で引けました。

3. 今週の主な予定

| 日程 | 曜日 | 国・地域 | 項目 | | 前回 |
|----------|-----|-------------------|---|---------|--|
| 1月27日 | Mon | ドイツ | IFO企業景況感指数 | 1月 | 96.3 |
| | | 米国 | 新築住宅販売件数 | 12月 | 71.9万件 |
| 1月28日 | Tue | 米国 | FOMC(米連邦公開市場委員会)29日まで耐久財受注(前月比) | 12月 | ▲2.1% |
| | | | 消費者信頼感指数 | 1月 | ▲126.5 |
| | | | ユーロ圏失業率 | 12月 | 7.5% |
| 1月30日 | Thu | 欧州 | ユーロ圏消費者信頼感指数 | 1月 | ▲8.1 |
| | | 米国 | GDP(国内総生産)速報値(年率/前期比) | 10-12月期 | +2.1% |
| 1月31日 | Fri | 日本 | 鉱工業生産(前月比) | 12月 | ▲1.0% |
| | | 失業率 | 12月 | 2.2% | |
| | | 製造業PMI(購買担当者景気指数) | 1月 | 50.2 | |
| | | 中国 | 非製造業PMI(購買担当者景気指数) | 1月 | 53.5 |
| | | 英国 | EU(欧州連合)離脱期限 | | |
| 決算発表予定 他 | 日本 | 決算発表 : | 1/27 日東電工、JSR 1/28 エムスリー、オービック、日立化 1/29 アドテスト、オムロン、キヤノン、ファナック、NEC、LINE 1/30 アコム、オランダ、カシオ、コジHD、ヒューリック、ヤマHD、三井住友H、中外薬、京セラ、任天堂、大日住薬、大東建、大ガス、富士通、日立金、東レ、東電HD、JR東海、野村HD、ドコモ 1/31 みずほFG、イーザイ、キーンズ、テンソー、三菱自、味の素、コマツ、JAL、日通、豊田通商、SBI、TDK、TOTO | | |
| | | | 海外 | 決算発表 : | 1/28 アパル、スターバックス、ファイザー、AMD、ロッキード、LVMH、SAP 1/29 AT&T、GE、テスラ、ペイパル、FB、ホールディング、マイクロソフト、マクドナルド、マスターカード、バルテス 1/30 アマゾン、イライリヤー、カコ、ビザ、UPS、ドイツ銀行、サムスン電子 1/31 キヤタピラー |

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて、弱含む展開～

今週の日本株市場は、日銀によるETF(指数連動型上場投資信託受益権)買入が下値をサポートするものの、新型コロナウイルスの感染者が拡大し、中国政府が国内のみならず海外への団体旅行を禁止するなど対応に追われる中、①経済活動の抑制による中国経済への悪影響が懸念されること、②国内においても、期待された中国人観光客のインバウンド消費が当面見込めなくなること、③リスク回避の動きを受けて円高ドル安基調で推移していること、④決算発表が本格化する中、投資家の様子見姿勢が強まりやすいことなどから、弱含む展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では31日の鉱工業生産や失業率、米国では28日のFOMCや耐久財受注・消費者信頼感指数、30日のGDP、欧州では30日のユーロ圏失業率やユーロ圏消費者信頼感指数、ドイツでは27日のIFO企業景況感指数、中国では31日の製造業PMIや非製造業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

URL: <http://www.alamco.co.jp>

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。